おうしゅう 広報 Oshu 11 2009
■発行日／11月12日㈭ ■発行／奥州市／〒023-8501 岩手県奥州市水沢区大手町1-1／☎0197㉔2111 ■編集／総合政策部政策企画課 ■印刷／川嶋印刷㈱

ぶらり奥州散歩道 Vol.45

市野々番所跡公園

（胆沢区若柳字天沢）

①駕籠道中大会ののぼりがたつ公園。ひめかゆ温泉に隣接しているので目にした人も多いかもしれません　②江戸時代の大名行列をヒントにした、ユニークな駕籠道中大会。現在は秋田県東成瀬村チームも出場し大会を盛り上げている（写真は18年11月撮影）　③同公園の北側にある御番所跡を示す標柱　④紅葉で色付く公園内

国道397号沿い、ひめかゆ温泉に隣接する市野々番所跡公園。

同公園付近にあった市野々御番所は、徳川家三代将軍家光が行った鎖国政策の一環として全国に設けられた関所の一つ。寛文3（1663）年に設置された同番所は、常時2人の役人が、秋田への旅人や物資の流出の取り締まりをした機関です。公園は、平成3年に同番所の様子をイメージして造られました。

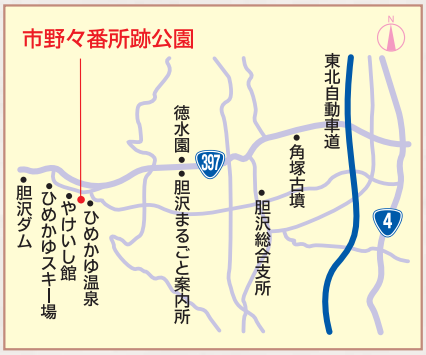
番所の設置からもうかがえるように、この周辺は古くからの交通の要衝地。岩手と秋田を結ぶ道路として約1200年前から歴史に登場する仙北街道は、かつて岩手と秋田を結ぶ最も重要な街道として利用されていました。記録によると、参勤交代時の通行のため、津軽藩が通行願を出していたことが分かっており、かの昔は華やかな大名行列がこの周辺を通行したのかもしれません。

「わたしたちの今の生活が成り立っていることを考えると、立派な歴史遺産だと思う」と仙北街道への思いを語る、胆沢愛宕公民館の阿部雅守館長。ことし20年目を迎えた仙北街道交流踏査や14回目となる仙北街道駕籠道中大会などを通じて街道の顕彰活動に尽力されています。

駕籠道中大会では、大名行列の様子を再現し、仮装した住民が、着飾った子どもを駕籠に乗せて運ぶ仮装行列道中と速さを競う早駕籠大会が行われます。

番所跡より東側は、国道397号と経路をほぼともにする旧街道。近辺を訪れた際は、1000年以上前から現在へつながる歴史について、思いをはせてみてはいかがでしょうか。

◇問い合わせ＝胆沢愛宕公民館（☎㊾2201）



パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャーの家
モデルハウス 11/28㈯ オープン
●オール電化 ●次世代省エネ基準クリア
※完成予想図ですので実際の建物とは異なります

パナソニックビルダーズグループ
高惣建設株式会社 〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号 TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120
0120-516-812 http://www.takasou.net/

※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※おうしゅう は、奥州市のホームページでもご覧いただけます。
VEGETABLE OIL INK
本紙1部の印刷費用は約42円です。